

- 附属病院に立体駐車場をBOT方式による独立採算型PFIにより整備
- 民間事業者のノウハウにより設計、建設、維持管理、運営を行いリスクは原則事業者負担
- 対象事業や事業方式によっては、整備費のみならず管理運営費でもコスト削減効果が発現

・事業概要

事業期間

15年(建設期間を含む)

事業方式・類型

BOT方式・独立採算型

施設規模

S3(3層4段) 7,440㎡

収容台数: 355台

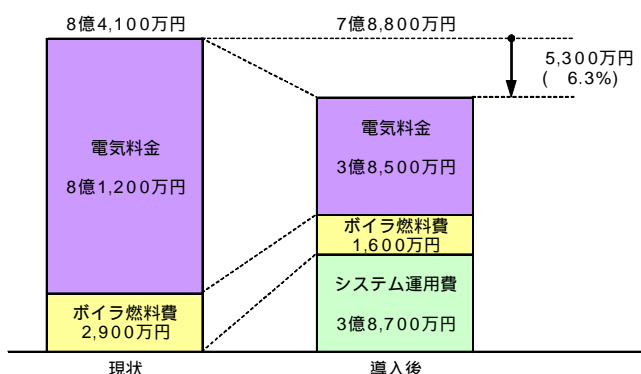


- ・導入可能性調査時の検討では、維持管理費・運営費で約2.7億円の削減効果

従来方式では職員2名のところを、PFI方式では1名とし、人件費相当分を削減したため

- 青葉山キャンパスの電力料金削減に関するWGを設置し、専門会社ヒヤリングを通じ複数のシステムを比較検討
- 最も効果大きい「オンサイト型発電システム」について削減額のシミュレーションを実施
- 大学の初期投資が不要なうえ、年間約5,300万円の節減効果を期待できることから、導入に向けてより詳細な検討を実施中

コスト比較(年間)



注: 試算の条件設定は次のとおり

- ・ 青葉山キャンパス内に自家発電設備 (3,850kW × 2台) を設置
- ・ 大学は事業者により自家発電設備の設置用地を無償で提供
- ・ 契約期間は13年間
- ・ 電力使用量は平成15年度実績を採用、電気料金は平成17年単価にて試算
- ・ 原油価格は平成16年12月時点を採用